

1.動作概要

文字列「TOSHIBA」を2chのTSPIを用いて送信、受信を行い、受信したデータをTera Term画面に表示します。

2.ボード設定方法

評価ボードの以下を結線します。

CN5 1-2 3-4 CN18 7-35 9-40 11-39

3.基本動作

Tera Term 画面「command >」と表示されるので、送信を行いたい場合は「write」と入力します。

「write」コマンドが入力されると、文字列「TOSHIBA」が送信され、Tera Term 画面は、

「command >」表示に戻ります。

受信データを表示するには、「read」と入力します。「read」コマンドが入力されると、受信データの読み込みを行い、受信したデータをTera Term画面に表示し、「command >」表示に戻ります。

4.設定

TMPM4G9評価ボードの場合：

TSPI送信側

TSPI2_TXD	:PA4
TSPI2_SCK	:PA6
TSPI2_CS0	:PA7

TSPI受信側

TSPI4_RXD	:PD2
TSPI4_SCK	:PD1
TSPI4_CSIN	:PD0

UART設定

TXD	:PE3
ボーレート	:115200(bps)
データ	:8(bit)
パリティ	:なし
ストップビット	:1(bit)
フロー制御	無し

5.出力例

```
command > write
command > read
read data > TOSHIBA
command >
```